

開講年次・時期	2年前期	授業回数	15回	時間数	30時間	必修・選択	選択	授業形態	演習	単位数	1単位
---------	------	------	-----	-----	------	-------	----	------	----	-----	-----

科目コード	NK230	科目名	社会的養護Ⅱ	担当者名	最上 和幸(実務家教員)
授業の概要	1年で学習した社会的養護からさらに知識を深め、社会的養護方法(実践)などの内容について理解し、さらに演習によって深めていく。				
科目の到達目標	①信頼関係の構築を意識した要支援児童への関わり方について学ぶ。 ②演習を通して、コミュニケーション技能の必要性を理解する。 ③ニーズの把握、意思伝達において、客観的な視点をもって対応できる力を養う。				
DPの観点	①聴く力、④協調性、⑤社会性、⑥専門知識・技能、⑦思考力、⑧実践力、⑨主体性、⑩問題解決力				
授業時間外学修(予習・復習)	テキストの専門用語の予習・復習を行う。(15分程度)				
フィードバックの方法	提出課題やリアクションペーパーにコメントを付して返却				
単位認定の要件	リアクションペーパー及びレポートの提出				
評価の方法・割合(%)	授業内活動(リアクションペーパー)60%、レポート40%				
履修上の注意事項					

回数	予定	実施	テーマ・内容	観点	方法
1			社会的養護における子どもの権利擁護について理解し、その基本的な考え方やあり方について学ぶ。	⑤、⑥	リアクションペーパー
2			社会的養護における子どもの理解を深める。	⑤、⑥	リアクションペーパー
3			社会的養護における日常生活支援について理解する。	④、⑥	リアクションペーパー
4			社会的養護における心理的支援について理解する。	⑤、⑥	リアクションペーパー
5			社会的養護における自立支援について理解する。	①、⑥	リアクションペーパー
6			施設養護の乳児院、児童養護施設、母子生活支援施設について、それぞれの施設の支援の対象や特性などを確認する。	⑤、⑥	リアクションペーパー
7			施設養護の児童心理治療施設、児童自立支援施設、障害児施設について、それぞれの施設の支援の対象や特性などを確認する。	⑤、⑥	リアクションペーパー
8			家庭養護の生活特性及び実際について理解する。	①、⑥	リアクションペーパー
9			アセスメントと個人支援計画の作成について学ぶ。	⑥、⑧、⑩	リアクションペーパー
10			記録と自己評価について理解する。	①、⑥	リアクションペーパー
11			社会的養護における保育の専門性にかかわる知識・技術とその実践について学ぶ。	⑥、⑦、⑧、⑩	リアクションペーパー
12			社会的養護にかかわる相談援助の知識・技術とその実践について理解する。	⑥、⑦、⑧、⑩	リアクションペーパー
13			社会的養護におけるソーシャルワークの意味と、知識・技術とその応用について学ぶ。	④、⑥、⑧、⑨	リアクションペーパー
14			社会的養護における家庭支援について理解する。	⑤、⑥	リアクションペーパー
15			今後の社会的養護の課題と展望について考える。(ディスカッション)	①、⑤、⑥、⑦	レポート
期末試験					

使用テキスト	『新基本保育シリーズ社会的養護Ⅱ』第18巻(中央法規出版)
参考文献 参考URL	『学ぶ・わかる・みえる シリーズ保育と現代社会 演習・保育と社会的養護内容』(株式会社みらい)
備考	進行状況により、授業のテーマ・内容は変更になる場合がある。

DPの観点	①聴く力②表現力③柔軟性④協調性⑤社会性⑥専門知識・技能⑦思考力⑧実践力⑨主体性⑩問題解決力
-------	--

授業の自己評価	
---------	--